

多収で、美味しい

# 直播栽培向き水稻

# ちほ みのり

◆栽培適地は、東北地域以南です。

◆「あきたこまち」より約1〜3割多収  
(690〜800 kg / 10 a)です。

◆倒れにくく、直播栽培に適しています。  
多肥栽培でも倒れません。

◆「あきたこまち」並に美味しいお米です。

◆質の良い低価格米、業務用米としての利用に適します。



## 育成のねらい

今後、我が国の稲作経営において、一層の経営規模拡大や所得向上を図るためには、一定水準の食味・品質を有して収量性が高いことに加え、栽培の省力・低コスト化に対応できるように直播に適した品種であることが必要です。

そこで、耐倒伏性に優れ、多収で良質・良食味の特徴を有し、直播栽培に適した水稲新品種「ちほみのり」を育成しました。

## 品種の活用面

秋田県の産地品種銘柄に設定され、2018年には約700haの作付けがありました。今後、複数の県で広範囲に普及することが期待されます。

## 栽培特性

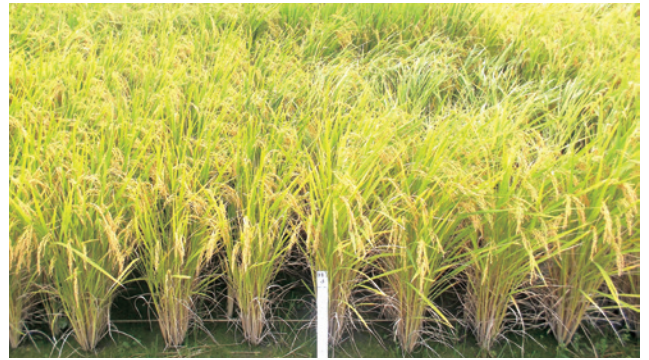
「あきたこまち」より3日ほど出穂が早い。稈長は短く、穂数はやや多い。

品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	精玄米重 玄米重 玄米		
					(kg/a)	標準比 (%)	千粒重 (g)
ちほみのり	7.28	76	17.8	473	69.3	111	23.3
あきたこまち	7.31	89	18.5	451	62.5	100	22.6

注) 標肥移植栽培、2009年～2013年

## 栽培上の留意点

倒伏するおそれがあるので、極端な多肥栽培はしないでください。



▲ちほみのり

▲あきたこまち

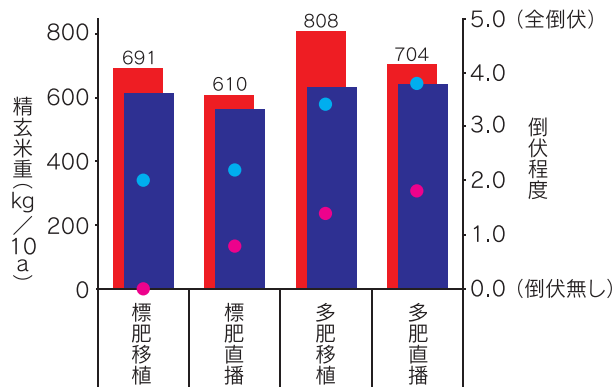
直播栽培でも倒れない「ちほみのり」  
(標肥直播栽培)  
(栽培地:秋田県大仙市、2013年)

「あきたこまち」より耐倒伏性、いもち病に強い。

品種名	ちほみのり	あきたこまち
耐倒伏性	強	やや弱
耐冷性	中	中
いもち病 葉いもち	強	中
抵抗性 穂いもち	やや強	やや弱

## 生産力検定

標肥・多肥、移植・直播とも「あきたこまち」より多収です。

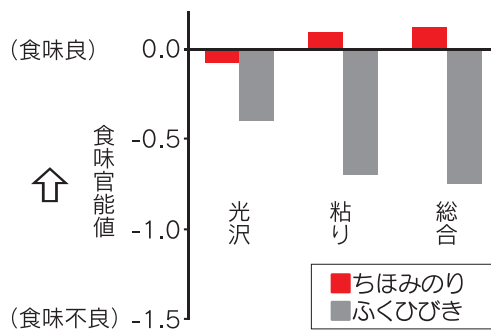


■ちほみのり(玄米重) ■あきたこまち(玄米重)  
●ちほみのり(倒伏程度) ●あきたこまち(倒伏程度)  
(秋田県大仙市 2012年,2013年の平均値)

## 品質特性

「あきたこまち」にひけをとらないおいしさ。

玄米の外観品津は「あきたこまち」と同程度。



基準(0)「あきたこまち」  
-3(おいしくない)～+3(おいしい)  
(秋田県大仙市2013年産)



▲ちほみのり



▲あきたこまち

### 《種子に関するお問い合わせ先》

農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室 産学連携チーム  
電話.019-643-3443 FAX.019-643-3588

### 《利用許諾に関するお問い合わせ先》

農研機構本部 知的財産部 知的財産課 種苗チーム  
〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 電話.029-838-7390 FAX.029-838-8905

### 品種に関するお問い合わせは

農研機構東北農業研究センター 企画部 産学連携室まで

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4  
電話.019-643-3414 FAX.019-643-3588

メール.www-tohoku@naro.affrc.go.jp http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/  
※「農研機構」は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム(通称)です。

東北農研

検索

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。